

オーストラリア特集2023

充実の航空路線で美食大陸へ
オーストラリアの食文化を体験

この国のフルコース。
大自然の景色を添えて。
「グッデイ!」ではじめよう、オーストラリア *G'day*

australia.jp
タスマニア

AUSTRALIA





市場の回復に合わせ、 オーストラリアの多彩な体験を発信

オーストラリア政府観光局

デレック ベインズ 日本・韓国地区局長

今、日本には4年前のようにインバウンドの旅行者が観光地にあふれています。オーストラリアでも旅行者の姿が当たり前のように見られるようになり、2023年1～9月までの渡航者数が2019年比で約60%、単月では70%以上戻ってきました。

日本マーケットも順調に回復しており、2024年には同年比で100%になるものと期待しています。こうした旅行需要を支えているのは、紛れもなく各航空会社の路線回復に

よるところが大きいでしょう。10月29日の全日空によるパース線の復活で、日豪間は成田、羽田、大阪からケアンズ、ブリスベン、シドニー、メルボルン、パースの5都市を結ぶ体制が整いました。来年の第1四半期には同年比で130%になる可能性も見えています。

また、弊局が昨年スタートしたグローバルキャンペーン「『グッデイ!』ではじめよう、オーストラリア」も丸1年が経ちました。世界中でルビー人気が高まるなか、日本でも旅行

業界の方たちと共に3年、4年と長く継続して展開していきたいと考えています。

オーストラリアを訪れる旅行者には、特にオーストラリアならではのさまざまな体験を提供していきたい。例えば美味しい食事やワインはレストランで楽しむだけでなく、自分で収穫したり、加工したり、あるいは調理した上で味わうアクティビティも豊富です。この特集を通してその一部を紹介いたします。

充実の航空路線で美食大陸へ

オーストラリアの食文化を体験

航空路線の拡充もあり、2024年はオーストラリアを訪れる日本マーケットの動きが加速しそうだ。2019年を確実に追い越すためには、レジャーマーケットへの訴求が課題となるだろう。オーストラリアならではの“体験”を鮮明に打ち出すことで、選ばれる destinations を目指したい。なかでも魅力的な食文化体験は、旅行全体の印象を左右する重要かつ不可欠な要素として注目に値する。

渡航者数100%回復へ

コロナ禍が収束し、世界中で旅行者が動き始めた2023年。オーストラリアでも会計年度末の6月までに年間渡航者数を2019年比で60%まで戻すという目標を達成し、585万6400人(対2019年比62.7%)を記録した。日本マーケットは6月までの1年間で173,200人(同35.8%)にとどまったが、7月、8月単月ではともに同70%前後の回復を見せている。オーストラリア政府観光局のデレック・ベインズ日本・韓国地区局長は、「全体の数字は2024年6月までに100%戻ると確信している」とコメント。日本マーケットも教育旅行やビジネスマーケット、VFR(友人や親族を訪問)などの需要が動いていることから、「24年には100%に戻るだろう」と語っている。

順調に推移する日本市場を支えているのは、航空路線網の充実ぶりに寄るところが大



きい。座席数で見ると、10月は2019年比で91%まで戻ってきており、年内に100%を超える見込み。オーストラリアから日本への渡航者数も増えており、双方向で需要が高まっていることから2024年3月頃には同年比で130%を超えると思われる。

座席数だけでなく、路線網の拡大にも注目だ。今年は3月にカンタス航空が羽田・メルボルン線、6月にヴァージンオーストラリアが羽田・ケアンズ線、10月には全日空が成田・パース線の運航を開始。ジェットスターは2024年2月に関空・ブリスベン線を再開、4月に関空・シドニー線を開設するなど、話題に事欠かない。

出発1か月前を目途に
早めの申請を!

ETAについて

ETAS (Electronic Travel Authority System) を通じてオーストラリア移民局に登録し、ETAと呼ばれる電子査証が発行される仕組み。申請から発給までオンラインで完結する電子ビザとなっている。

ETAポイント

- 申請時にはパスポート、電子メールアドレス、クレジットカードを用意
- 観光、知人・親族訪問、商用いずれの目的でも取得が必要
- パスポートの残存期間が1年以上あれば、取得日から1年間有効で何回でも入国が可能。1回の最大滞在日数は3カ月
- オンライン申請手数料としてA\$20(約1900円)が必要

※ETAに関する詳細および最新情報は在日オーストラリア大使館のウェブサイトを確認
<https://japan.embassy.gov.au>

新キャンペーンの浸透を促進

オーストラリア政府観光局がローンチしたグローバルキャンペーン『グッデイ!』ではじめよう、オーストラリアもスタートから1年。CGIアニメのキャラクターを起用したオリジナルショートムービーで、オーストラリア各地の魅力を紹介するという新しい手法がインパクトを与えた。

カンガルーのルビーとユニコーンのルイは各国で好評を博しており、日本でも多くの旅行会社がキャラクターを使った商品展開をしている。現在は、オーストラリア政府観光局のYouTubeをはじめ、ティーバーやアベマなどの動画配信サービスへターゲットティングに合わせた動画広告を出稿。「今後も長く愛されるプロモーションにしていきたい」(ベインズ日本・韓国地区局長)としている。

オーストラリア政府観光局
ショートムービー「G'day」の
視聴先はこちら



▼ 旅行会社が活用できるキャンペーン素材の
ダウンロードはこちら

<https://resources.australia.com/site/welcome.me>

※登録後、「come and say g'day」を入力・検索すると、
素材一覧にアクセスできる
※使用の際はパートナーシップツールキット(ガイドライン)を
参照のこと



インを楽しむなら一面のブドウ畑が広がるワイナリーまで出かけたらし、ウイスキー、ラム、ジンなどの蒸留所で自分だけのオリジナルボトルを作るのもいいだろう。自ら海に入りウニやアワビ、牡蠣を獲ってその場で味わったり、森に分け入りキノコやトリュフを採取し、新鮮な食材を使った料理を楽しんだり、食文化をアクテ

オージー流に食を謳歌

オーストラリアの魅力を発信する上で欠かせないキーワードの1つが「体験」だ。雄大な大自然や唯一無二の世界遺産、固有の野生動物や洗練されたグルメなど、旅の切り口はさまざまだが、どれも実際に体験できるプログラムが豊富にそろっているのがオーストラリアの強み。そのなかでも旅行中に何度も経験する食事は、バリエーションをつけることで旅をより華やかに彩ることができる。

バリエーションとはつまり、何を食べるかだけでなく、いつ、誰と、どこで食べるかという環境まで含めた食体験を指す。「オージーには“何を食べよう”と“どこで食べよう”の区別がない」とベインズ日本・韓国地区局長。高級レストランに出かけることもあるが、早起きしたら眺めのよいカフェへ、フィッシュ&チップスを頬張るならビーチへとというように、日々食事を美味しく食べること、かけがえのない時間にするのが当たり前になっているという。

旅行者にも1日3回の食事をアクティビティのように楽しむ選択肢がいくらかでも用意されている。例えば、オーストラリアの極上ワ

イブに体験することができる。

また、オーストラリアの食文化で忘れてはならないのが、ブッシュ・タッカーだ。アボリジナルピーブルが伝統的に食材にしてきた固有のハーブや木の実、カンガルーやエミューの肉などをブッシュ・フードとも呼び、これらをアボリジナルガイドと一緒に採取したり、使い方を学んだりするツアーが各地で実施されている。

こうしたオプションツアーを取り入れるだけで、オーストラリアの食体験は旅行に忘れ難いインパクトを残すことになるだろう。もちろんツアーや高級レストランに高いお金を払わなくても、ミートパイをテイクアウトしたり、カフェでコーヒー文化に触れたりするだけでもオーストラリアの食の魅力を感じることができるはずだ。



オージー・スペシャリスト・プログラム(ASP) 300名のスペシャリストが商談会の地、ケアンズに集結!

<https://www.aussiespecialist.com/ja-jp>



コロナ後初の 現地イベントを開催

「オージー・スペシャリスト・プログラム(ASP)」は、旅行会社向けデスティネーション認定プログラム。この10月にはコロナ明け初となるスペシャリスト限定の現地イベント「G'day Australia 2023(グッデイオーストラリア2023)」を開催した。商談会とファムから構成される同イベント(旧コロポリー)は、全世界から300名のオージー・スペシャリストとオーストラリア全土から124社のサプライヤーが商談会の開催地であるケアンズに集結。

商談会で最新情報をアップデートしたほか、ケアンズならではのディナーレセプションでサプライヤーと交流を図る場も用意された。

現地イベントや ファム情報をチェック!

同イベントには、日本から18名の旅行会社が参加。商談会の前後にはケアンズとメルボルンのチームに分かれてファムも実施され、実際にオーストラリアの今を体験する機会も設けられた。現地イベントは今後も随時開催を予定。参加募集はオージー・スペシャリスト・プログラムのニ

ュースレターで告知されるので、ニュースレターの受け取り登録を忘れずにおきたい。



活気ある商談会の様子

ブリスベンやケアンズへ 直行便が続々運航

ゴールドコースト、ブリスベン、ケアンズの最新情報



オーストラリアを訪れる日本人旅行者は、コロナ禍が沈静化してから順調に回復。オーストラリア旅行の人気の高さが証明されている。なかでも日本から一番近いオーストラリアであるクイーンズランド州への旅行需要は力強く回復。ブリスベンやケアンズへの直行便の運航も時間を追って増えている。今回はこの人気の地、クイーンズランド州の最新観光情報をピックアップして紹介する。

Gold Coast ゴールドコースト

ブリスベン空港からゴールドコーストへは お手頃料金のシャトルバス利用がお勧め



日本からゴールドコーストへのゲートウェイが10月末からブリスベン空港となる。ゴールドコースト空港への直行便ではなくなるものの座席供給力は増強され、2024年2月からは関空/ブリスベンの運航が予定され、ゴールドコーストへアクセスできるフライトの合計座席数は過去最多となる見込みだ。

ブリスベン空港からゴールドコーストへのアクセス(約78km)は専用車なら1時間。他にも電車(エアトレイン)やトラムな

どの手段があるが、お勧めはエアポートシャトルバス。宿泊ホテルを周るサービス(片道72ドル、往復138ドル)やサーファーズパラダイスのトランジットセンター行きのサービス(片道50ドル、往復100ドル)もある。タクシーなら最低250ドル、ウーバーでも最低150ドルはかかるので、お手頃料金を希望する旅行者にはシャトルバスがお勧めだ。

<https://www.queensland.com/jp/ja/places-to-see/destinations/gold-coast/brisbane-to-gold-coast-jp>

新名所HOTAに行くなら 観光フェリーHOPOで

HOTAはゴールドコーストの芸術拠点で、HOTAギャラリーでは1年中無料で各種アート作品を鑑賞できる。各種アートが楽しめるだけでなく、映画館やカフェ、レストラン、景観が最高な屋上バー、泳げる湖まであるHOTAは、総合エンターテインメント空間。日曜日にはマーケットが開かれ、朝食や観光客のお土産探しにも最適だ。

17ヘクタールもの広大な土地を市が購入したのは1960年代のこと。その後、

アート系の施設が作られリノベーションを重ねながら常に芸術の中心だった場所だ。2018年に大幅なリブランドが実施され、Home of the Arts (HOTA) となつてからは一段と魅力的なスペースとなつて市民や観光客の人気を集めている。

サーファーズパラダイスの運河沿いにあるHOTAは、車や公共交通機関でも訪れることができるが、できればフェリーのHOPOで行ってみたい。ゴールドコーストの新交通手段として人気のHOPOは、運河から高層ビルや高級住宅などの景観を眺めながら移動できるため、観光フェリーとしても人気を集めている。HOTAに立ち寄った後は、再びHOPOを利用してマリ



ーナミラージュやシーワールドまで足を延ばすこともできる。

<https://hota.com.au>
<https://hopo.com.au/>

クーリー・ロックス・オン・フェスティバル



ゴールドコーストの南部、クーランガッタでは毎年6月、1950年代~70年代の車と

音楽とファッションを愛する老若男女が集まるイベントが開かれる。それがこのフェスティバル。来年は6月5~9日の5日間の開催だ。

期間中は世界中からロックンロール、ロカビリー、スウィングなどのミュージシャンが集まりステージパフォーマンスが繰り広げられる。60年代を代表するミュージシャン、エルヴィス・プレスリーをトリビュートす

るアーティストたちによるコンテストも開催。優勝者は米国のエルヴィス・ウィークへの出場権を獲得できる。

路上では2kmにわたり、改造車のホットロッドや、クラシックカー、V8大排気量エンジンのマッスルカーなど900台以上が集結。またビーチフロントでは期間中、毎日マーケットが開催され、レトログッズや50~70年代ファッションに合うビンテージ小物などが販売される。

<https://www.coolyrockson.com/>

ケアンズ早朝到着後の過ごし方 お楽しみアイデア

ケアンズは順調に日本人観光客が増加中で、6月にはヴァージン・オーストラリア航空(VA)による羽田/ケアンズ線も運航開始。ジェットスター(JQ)の成田/ケアンズ線の毎日運航も再開済み。同じくJQの関空/ケアンズ線も週5便(繁忙期は毎日運航)となっている。

ケアンズ到着は早朝5時~6時前後だが、早起きシティーのケアンズなら時間を持てあますことはない。入国手続きを済ませてタクシー(所要約10分/料金30ド



ル)やシャトルバス(所要約15分/料金19.30ドル)で市内に着くころには街も動き出す。スーパーは朝6時から、カフェも7時からオープンのお店もあり、荷物をホテルに預けてチェックインまでの時間を有効活用できる。土産物の下見やSIMカード購入をスーパーで済ませ、散歩がてら好みのカフェ



を見つけて朝食を摂るのがお勧め。

海岸沿いの散策路、エスプラネードに面する水遊びができる公園「エスプラネード・ラグーン」は更衣室とロッカー完備。朝食後にはビーチタイムも楽しめる。



CaPTAが新しい 街中アトラクションをオープン

コアラと触れ合える観光施設「ケアンズ・コアラ&クリーチャーズ」が11月中旬、ショッピングモール「ザ・ピア」にオープンした。ケアンズで複数の観光施設を展開するCairns&Port Trip&Attractions(CaPTA)

グループの運営によるもので、コアラと一緒に写真撮影できる。

以前は市中心部にある巨大ドーム型植物園「ケアンズズーム&ワイルドライフドーム」内でサービス提供していた日本の旅行業界にもおなじみの施設だが、移転しての営業開始となった。今後、触れ合える動物を増やして来年以降正式オープンとなる。



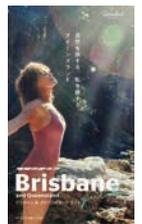
クイーンズ・ワーフ最新情報 5ツ星ホテルは来年4月下旬に先行オープン

ブリスベン最大級の再開発プロジェクト「クイーンズ・ワーフ・ブリスベン」は、コロナ禍の影響などで開業が遅れ気味だが、施設ごとに開業予定が決まりつつある。まず来年4月には5ツ星ホテル「ザ・スターグランド」やイベントセンター、一部飲食店が開業。来年半ばからは段階的にオープンする施設が増えていく見込みだ。

<https://queenswharfbrisbane.com.au>

地球の歩き方『ゴールドコースト&ケアンズ グレートバリアリーフ ハミルトン島』編に別冊付録

地球の歩き方『ゴールドコースト&ケアンズ グレートバリアリーフ ハミルトン島』編が8月29日に発行されたが、『ブリスベン&クイーンズランド』が別冊付録になっている。クイーンズランド州政府観光局が主にブリスベン情報を雑誌スタイルにまとめ、読者のために別冊付録として提供。観光局が日本読者に訴えたいブランドコンセプトを説明する記事も掲載している。



クイーンズランド州政府観光局(TEQ)からのお知らせ

Podcast「トラベル&英会話Sunset Q.L.D」 絶賛オンエア中!

TEQはインターネットで音声情報を発信するポッドキャスト番組「トラベル&英会話Sunset Q.L.D」を放送中。もとは旅行業界向けに州内の観光プロダクト情報を現地担当者によるライブ配信で紹介していましたが番組内容をリニューアル。現在は旅行者の皆さんを含めた幅広い方々に、最新情報を提供しています。オージーが使う英語フレーズを取り上げて解説する英会話レッスンを交えて楽しくお届けしているのが特徴です。

放送回ごとにゲストを招待。毎回異なるテーマを取り上げていますが、ゲストには現地の観光施設や地域観光局等で活躍する日本人やオージーが登場。ホテルマン、旅行ガイド、ワーホリ学生、旅行インフルエンサーなど、多彩なゲストたちが楽しいトークを展開します。

1回分の放送時間は15分~20分と手軽な長さ。インターネッ

ト環境があればいつでもどこでも聞いていただけますので、朝の通勤、お昼休憩、夜寝る前等のちょっとした時間の気分転換にお聞きください。

<https://www.queensland.com/jp/ja/plan-your-holiday/news-and-articles/podcast-queensland-japan>



クイーンズランド州 デジタル・ウォーキング・マップを制作

TEQでは旅行者のためにケアンズ、ブリスベン、ゴールドコーストのウォーキング・マップを制作してきましたが、エコの観点から紙によるマップをデジタル化することになりました。最新のマップは下記のQRコードから入手していただけます。



日本からオーストラリアへの新たなアクセスとして加わったのが、今年6月28日から羽田-ケアンズ線の運航を開始したヴァージン・オーストラリア航空だ。同社は旅客の視点に立った付加価値の高いサービスを提供する点が大きな特徴となっている。また、羽田空港から運航していることや全日空(ANA)とのコードシェア提携により、日本国内各地からの乗り継ぎが可能だ。また、ケアンズからもオーストラリアの主要都市に接続しており、オーストラリア国内をスムーズに移動することができる。



日本からオーストラリアへの新たな翼

ヴァージン・オーストラリア航空の羽田-ケアンズ線

旅客目線に立ったサービスを競争力の高い運賃で提供

「エコノミーX」に代表されるユニークさも魅力

日本へ初就航となった羽田-ケアンズ線は同社の最新機材であるボーイング737-8型機を使用する。座席数は全176席・座席

エコノミーXはエコノミークラスより40%足元の広いスペースを確保しているほか、優先搭乗や頭上収納スペースの優先利用など、

クラスはビジネスクラスが8席。エコノミークラスが138席。これらに加えて30席用意されているのが「エコノミーX」だ。

ユニークなサービスを提供しているのが大きな特徴だ。

また、エンターテインメントシステムについても手持ちのタブレットやスマートフォンを用いて、豊富なコンテンツを日本語で楽しむことが可能だ。

さらにヴァージン・オーストラリア航空の大きな特徴といえるのが、旅客の視点にたった付加価値の高いサービスだ。同社はAirlineRatings.comの「ベスト・キャビン・クルー賞」を5年連続で受賞するなど、客室乗務員によるおもてなしには定評がある。

日本人旅客への対応に関しては日本人の客室乗務員が機内に搭乗しているほか、オーストラリア国内には日本語で予約や問い合わせが可能なゲストコンタクトセンターを用意。きめ細やかなサービスを提供している。



エコノミーXはユニークなサービスを提供



エンターテインメントシステムも充実

ANAとのコードシェアで日本国内各地から容易にアクセス

ケアンズからも円滑にオーストラリア主要都市へ

ヴァージン・オーストラリア航空のフライトの日本での発着空港は東京都心に近い羽田空港となる。加えてANAとのコードシェア提携を行うことで、札幌、名古屋、大阪、福岡、沖縄、小松、広島、岡山、松山、高知、熊本、宮崎、鹿児島、大分、長崎の各都市とのアドオン運賃の販売を行っており、日本の主要都市からスムーズにオーストラリアに向かうことが可能だ。

さらにケアンズ到着後も、シドニー、メルボルン、ブリズベンといった主要都市だけでなく、アレドード、パースへの乗り継ぎも可能で、オーストラリア国内のアクセス性も非常に高いものとなっている。多様性があり、かつ豊富な観光資源を



持つオーストラリアにユニークなサービスと利便性の高いヴァージン・オーストラリア航空を使って是非訪れてみてはいかが。

ヴァージン・オーストラリア航空
日本総代理店 株式会社ワールドコンパス

コールセンター電話番号 **050-5369-8005** 旅行会社専用番号 **03-6908-8193**
旅行会社専用メールアドレス **sales.jp@virginaustralia.com** ※営業時間:平日9:30-17:30



australia

東京 (羽田) ↔ ケアンズ

直行便を毎日運航



ワンランク上のサービスを
ビジネスクラスで



足元は余裕のスペース
エコノミーX



事前に座席指定可能な
エコノミークラス

運航スケジュール

便名	出発	出発時間	到着	到着時間
VA78	東京 (羽田)	21:45	ケアンズ	06:15(翌日)
VA77	ケアンズ	13:15	東京 (羽田)	20:00

*スケジュールは予告なく変更する場合がございます。

DESTINATION GOLDCOAST™



ゴールドコーストは、近年グルメの街、美食の地としても高い評価を得ている。なかでも「シェフ・ハット」と呼ばれる名誉ある賞を受賞したレストランが23軒もある。これは、オーストラリアン・グッド・フード・ガイド (Australian Good Food Guide) が採用している評価システムで、食材、味、プレゼンテーション、テクニク、価値などの要素を考慮し、常に素晴らしい料理を提供するレストランに贈られるものだ。ゴールドコーストで最高級の食事を楽しむなら、ぜひこれらの素晴らしいレストランを予約してみたいか。



今、注目！ ゴールドコーストのダイニングシーン

リック ショアーズ Rick Shores

目を見張るような眺望と、それに見合う料理が味わえる。アジアの美味しくてスパイシーな風味を取り入れたメニューが特徴。パーレイヘッズの黄金色の砂浜からほど近い場所でのグルメ体験はまさに忘れることのできない旅の思い出となるはず。



おすすめ一品 ● モートン・ベイ・バグ (うちわエビ) ・ロール

住所 3/43 Goodwin Terrace, Burleigh Heads
URL www.rickshores.com.au

ソーシャル イーティングハウス Social Eating House + Bar

ブロードビーチのオラクル地区にあり、エレガントで社交的なモダン・オーストラリア料理を提供する。10年以上の歴史を誇るこの店で、ゆったりとくつろぎながら完璧なサービスと共に素敵な料理を味わいたい。



おすすめ一品 ● 大海老のリゾット、黒トリュフの生クリーム、キャビア添え

住所 Shop 137/3 Oracle Boulevard, Broadbeach
URL socialeatinghouse.com.au

パレット Pallet

アートの殿堂「HOTA (ホーム・オブ・ジ・アート)」の目を見張るような回廊を歩き回れば、食欲が湧いてくるに違いない。ここでは、料理長が地元産の食材を活かし、HOTAの芸術性を、料理という形で表現している。



おすすめ一品 ● ダンク・ビーフ: 9+クラスのチンチラステーション産オーストラリア産牛ビーフに、フォアグラとガラム (魚醤)、オニオンソース、3度揚げしたカリカリポテトを添えて

住所 135 Bundall Road, Surfers Paradise
URL paletterestaurant.com.au

バルボア・イタリアン Balboa Italian

ビーチから目と鼻の先にある、赤レンガ造りの店構えが印象的。本格的なピッツァとパスタが味わえる。屋外のテーブルでパームビーチの賑わいを眺めながら、ゴールドコースト流の「ラ・ドルチェ・ヴィータ (自由気ままな生活)」を満喫しよう。



おすすめ一品 ● 品数豊富な窯焼きピザはどれもおすすめ

住所 1069 Gold Coast Highway, Palm Beach
URL balboaitalian.com.au

タン・コート Tang' Court

話題の「ザ・ランガム・ゴールドコースト」にあるフラッグシップ高級広東料理レストラン。食通たちが思わず舌を巻く、見事な選りすぐりのセットメニューで市内屈指の中華料理を体験できる。



おすすめ一品 ● シェフズ・プレミアム・セットメニューとベアリングのワイン

住所 38 Old Burleigh Road, Surfers Paradise
URL www.langhamhotels.com/en/the-langham/gold-coast/dine/tang-court

ラルーナ La Luna Dining

息をのむような絶好のロケーションと、目を見張るような魅力的な内装が魅力。豊富なコールドバー、フレッシュなパスタ、炭火で焼いた高級牛肉など、メニュー選びに困るほどどれもが美味しい。



おすすめ一品 ● シーフード・リングイネ (パスタ)、新鮮なシーフードをニンニクや唐辛子、トマト、アーモンドで味付け、仕上げに白ワインで地中海風に仕上げたパスタ

住所 74 Seaworld Drive, Marina Mirage
URL www.lalunadining.com.au/about-us

Food & Drink Events in 2024

2023年11月22日～2024年3月13日 **ビクトリア州・メルボルン**

メルボルン・ナイトマーケット

水曜日の夜を盛り上げるナイトイベント

メルボルンを代表する市場、クイーン・ビクトリア・マーケットで行われる夏の祭典。各国の屋台料理やクラフト、特産品などが並び、食べ歩きやショッピングを楽しむことができる。至る所で野外ライブや路上パフォーマンスも。冬季も開催される。

Summer Night Market <https://summernightmarket.com.au>



2023年12月27日～2024年1月6日 **タスマニア州・ホバート**

タスマニアズ・テイスト・オブ・サマー

年末年始を盛り上げるフードイベント

埠頭に面した倉庫群、サラマンカ・プレイスで行われる食の祭典。ワイナリーや蒸留所、レストランやカフェなど80以上の飲食店が出店し、タスマニア産の食材を使ったシーフードやエスニック料理、スイーツなどが楽しめる。

Tasmania's Taste of Summer <https://tasteofsummer.com.au>



City of Hobart and Alastair Bell
1月2、3日は休み

3月15～24日 **ビクトリア州・メルボルン**

メルボルン・ワイン&フード・フェスティバル

初秋の恒例、南半球最大規模の食の祭典

1993年にスタートした食とワインのイベント。市内や郊外で大小250以上ものプログラムが用意され、有名シェフやワインメーカー、ソムリエなども参加する。名物は全長約500mのテーブルで1600名が着席するロングストランチ。

Melbourne Food and Wine Festival <https://www.melbournefoodandwine.com.au>



3月22日～4月2日 **ニュー・サウス・ウェールズ州・シドニー**

シドニー・ロイヤル・イースターショー

農業の発展祝う大規模な長寿イベント

1823年からシドニー・オリンピック・パークで開催されている歴史ある農業祭。新鮮な食材が豊富にそろい、オーストラリアならではのパーベキューやミートパイ、バーガー、ワイン、パスタ、スイーツなどが楽しめる。そのほか、名産品の販売や動物との触れ合いも。

Sydney Royal Easter Show <https://www.eastershow.com.au>



©Destination NSW

4月5～14日 **ニュー・サウス・ウェールズ州・オレンジ**

オレンジ・フード・ウィーク

農産物の豊かさ祝う地域イベント

果物の栽培やワインの産地として知られるオレンジ地方で、毎年秋に行われる地域の食とワインのフェスティバル。30年以上の歴史を誇り、地元のレストランやカフェ、ワイナリーなどを舞台に多彩なイベントが繰り広げられる。

Orange F.O.O.D Week <https://orangefoodweek.com.au>



©Destination NSW

5月3～12日 **南オーストラリア州・アデレード**

テイasting・オーストラリア

食の好奇心を刺激する10日間

南オーストラリア州を代表するRAAトラベル主催のフード・フェスティバル。アデレードのタウン・スクエアを中心に、一流のシェフによる州ならではの食材を活かした食事やワイン、クラフトビールなどを楽しむことができる。

Tasting Australia <https://tastingaustralia.com.au>



South Australian Tourism Commission

5月24～26日 **ノーザンテリトリー・カカドゥ国立公園**

テイスト・オブ・カカドゥ

アボリジナル伝統の食文化イベント

カカドゥ国立公園で開催される食の祭典。6万5000年の歴史を持つ先住民族が大切にしてきたブッシュ・フードを通して伝統文化について学べるほか、食を中心にアート、音楽、パフォーマンス、ワークショップなども行われる。

Taste of Kakado <https://parksaustralia.gov.au/kakadu/taste>



©Tourism NT

6月1～30日 **クイーンズランド州・ゴールドコースト**

シーニック・リム・イート・ローカル・マンス

食の祭典でオリジナルのジンづくりを

マウントタンボリンで行われる食と農業のフェスティバル。農場ツアーやロングランチなど約130のイベントがあり、地元産の豊かな食に出会うことができる。ゴールドロン蒸留所でのジン・ブレンドング・クラスがおすすめ。

Scenic Rim Eat Local Month <https://www.eatlocalmonth.com.au>



6月28～30日 **南オーストラリア州・アデレード・ヒルズ**

ウィンター・レッズ

ワイン産地で暖まる冬の週末イベント

優れた品質のワインを生産しているアデレード・ヒルズのワイン祭り。ワイングラス付きのわずかな入場料で、各種ワインの試飲やカジュアルフード、ライブ音楽などが楽しめる。焚火やホットワインなど冬ならではの楽しみも。

Winter Reds <https://www.adelaidehillswine.com.au/events/winter-reds/>



South Australian Tourism Commission

8月8～11日 **クイーンズランド州・ケアンズ**

テイスト・ポートダグラス

トロピカルリゾートでグルメの祭典

ポートダグラスのシェラトン・グランド・ミラージュ・リゾートで行われる食のイベント。敷地内のフェスティバル・ヴェレッジでは、ライブ感あふれる料理のデモンストレーションや屋台グルメ、ライブ音楽などが楽しめる。

Taste Port Douglas <https://www.tasteportdouglas.com.au>



10月下旬 **西オーストラリア州・マーガレット・リバー**

ファイン ヴァインズ フェスティバル

ワインに酔いしれる10日間の宴

パースから南へ車で約3時間のワイン産地、マーガレット・リバーで行われるワインの祭典。ブドウ園ツアーや上質なワインの試飲、ワイン生産者やソムリエとの出会いなど、ワインにまつわるさまざまな体験ができる。

Fine Vines Festival <https://finevinesfestival.com.au>



11月 **タスマニア州・ロンセストン**

エフェルヴェセンス・タスマニア

スパークリングワインを探究する3日間

ジョセフ・クロミー・ワインズが主催する最高級スパークリングワイン生産者の展示会。地元だけでなく、国内外のスパークリングワインを美食と共に味わうことができる。期間中は音楽やダンス、ヨガを楽しむことも。

Effervescence Tasmania <https://effervescencetasmania.com>



©Andrew Wilson

美味しいオーストラリアを体験

フード&ドリンク おすすめスポット

食料自給率が高く、さまざまな国の食文化が溶け合うオーストラリア。今やオーストラリアが美味しい国であることは周知の事実だ。さらにもう一步踏み込んで、自ら獲る、作る、味わう、そんなアクティビティとしての食体験をしてみたい。ここではフード&ドリンク体験ができる各州イチ押しのおすすめスポットを紹介していこう。



ノーザンテリトリー

タリ・ウィル

ウルルの絶景望む屋外レストランで特別ディナー

アナング族の言葉で「美しい砂丘」を意味するタリ・ウィルは、夕陽に染まるウルルを望む特別な屋外ディナー体験。先住民に伝わる食材の特性を活かした4コースの料理を、オーストラリアワインとのペアリングで楽しむことができる。語り部による星空観測も忘れられない思い出に。



©Voyages Indigenous Tourism Australia

Tali Wiru

<https://www.ayersrockresort.com.au/experiences/tali-wiru>

夕暮れのシャンパンでスタート

ピーウィーズ・アット・ザ・ポイント

南国ムードあふれる水辺のレストランで癒しの食体験

トロピカルなヤシの木に囲まれたイースト・ポイント保護区に位置するウォーターフロントのレストラン。見た目にも美しい洗練された料理は、地元産の新鮮な食材を使用しているほか、土地の文化や気候なども反映されている。オーストラリア産や世界各国のワインも豊富にそろろう。



©Tourism NT/Christopher Nayna

Peewee's at the Point

<https://www.peeweess.com.au>

海を望む開放的なロケーションが魅力

西オーストラリア州

マーリナップ・アボリジナル・ギャラリー

土地の恵みブッシュフードの奥深さに興味津々

食やアートなどを通してアボリジナル文化を発信しているスワンバレーのギャラリー。ホストのデール・ティルブルックさんによるトークとブッシュ・タッカーのツアーでは、固有のハーブやナッツ、フルーツなどで作った加工品を試食でき、アボリジナルの伝統的食材に触れられる。



ジャムやチャツネ、酢などを試食

Maalinup Aboriginal Gallery

www.maalinup.com.au

ヒドゥン・ディ・ツアーズ

人気のジン・バーを巡るパースのウォーキングツアー

ジンの蒸留所が市内各地に出現しているパース。ジン好きにはヒドゥン・ディ・ツアーズが主催するパースのジン・ウォーキングツアーがおすすめだ。ガイドによるジンの解説を聞きながら2軒のバーに立ち寄り、ジンを引き立てる付け合わせと共にさまざまな種類のジンを味わえる。



Hidden deTours © Tourism Australia

香り高いジンを飲み比べ

Hidden deTours

<https://www.hidden-detours.com.au>

南オーストラリア州

ザ・ファーム・イーター

採れたての食材で作る美味しい料理づくりに挑戦

有名なワイン産地、パロッサバレーに位置するレストラン。地元の食材を使った南オーストラリアスタイルの料理とワインやジンを楽しむのももちろん、料理教室に参加するのもおすすめ。パンやチーズ、ピクルス、パスタなどのほか、和食やベジタリアン料理などのクラスがそろろう。



©Tourism Australia

ファーム・トゥ・テーブルを実践

The Farm Eatery

<https://www.thefarmeatery.com>

フード・ツアー・オーストラリア

アデレードの台所を訪れ、フードツーリズムを体験

元シェフで著名な食品専門家でもあるマーク・グリーンソン氏が企画したウォーキングツアー。アデレード・セントラル・マーケットを散策し、州内で作られた食べ物の試食や店主との会話を楽しむディスカバー・ツアーをベースに、朝食やランチが付くコースなどが用意されている。



©Josh Geesjen

基本のツアーは約90分でコーヒー付き

Food Tours Australia

<https://www.ausfoodtours.com>

クイーンズランド州

YOTでのサンデーランチ

クルージングとシーフードランチに酔いしれる日曜日

YOTクラブ社が運航するスーパーヨットYOTで、ゴールドコーストのブロードウォーターをクルージングしながら楽しむ日曜日のランチプラン。乗船時のカクテルやライブエンターテインメントを楽しみながら、ゆったりと3コースの新鮮なシーフードメニューを味わえる。



2時間半のクルージングで贅沢ランチを

Sunday Lunch on the YOT

<https://www.queensland.com/gb/en/things-to-do/events/p-62620fd4ff1e28902e07f678-sunday-lunch-on-the-yot>

アサートン高原ツアー

ガイドのシェーンさんが地元の美味しいものをご案内

オージーガイドによる日本語ツアーのトゥルーブルーーツアーズが主催する大自然を巡るツアー。熱帯雨林や湖、国立公園などを訪れながら、アサートン高原の牧場で出来立てのチーズを試食したり、フルーツワインを試飲したりするほか、ランチにはキッシュやオージービーフが楽しめる。



©Tourism and Events Queensland/Andrew Watson

Atherton Tablelands Tour

<https://www.truebluetours.com/atherton>

コーヒー工場ではお土産も

ニュー・サウス・ウェールズ州

ハーバーフロント・シーフード・シドニー・ザ・ロックス

目の前にシドニー・オペラ・ハウスを望むレストラン

歴史あるザ・ロックスに位置するウォーターフロントのシーフードレストラン。目の前にシドニー・オペラ・ハウスとシドニー・ハーバーブリッジを望むロケーションが魅力で、特に屋根付きのテラス席が人気だ。新鮮な食材をモダンにアレンジしたメニューのおすすめは、牡蠣やパラマンディなどのプレート。



©Harbourfront Seafood Restaurant Sydney

Harbourfront Seafood Sydney the Rocks

<https://thevenuesco.au/harbourfront>

イベントやレセプションにも最適

シドニー・オイスター・ファームツアー

水中テーブルで新鮮な牡蠣を味わうユニーク体験

シドニーから車で約1時間、ホークスベリー川水域の牡蠣養殖場が舞台のツアー。おすすめは、長靴付きのゴム製水中スーツを着用する「Immerse Yourself」のコース。ボートで養殖場へ向かい、水中にセットされたテーブルで新鮮な牡蠣18ピースとスパークリングワインが楽しめる。



©Destination NSW

Sydney Oyster Farm Tours

<https://www.sydneyoystertours.com>

写真映える牡蠣テイasting

ビクトリア州

スピリット・オブ・メルボルン

ヤラ川を行くクルージングレストランで優美な時間を

ディナークルーズを体験するなら、メルボルンの中心部を流れるヤラ川で催行されるスピリット・オブ・メルボルンがおすすめ。刻々と変化するウォーターフロントの景色に魅了されながら、地元の食材をふんだんに使った繊細な料理とワインで優雅なひと時を楽しむことができる。



クルージングの所要時間は約3時間

Spirit of Melbourne

<https://www.melbcruiises.com.au/dining-experiences>

Q Train

車窓を流れる風景と絶品のフード&ドリンクを堪能

メルボルンから車で約90分のペラリン半島にある町、ドライブデールからクイーンズクリフ間を走るレストラン鉄道。車内では地元産の食材を使用したコース料理やビール、ワイン、サイダーなどを味わうことができ、車窓からはポートフィリップ湾やワイナリーなどの風景が楽しめる。



鉄道の旅は往復約3時間

Q Train

<https://www.theqtrain.com.au>

タスマニア州

ラーク・ディスティラリー

150年ぶりに蘇ったシングルモルトウイスキーの蒸留所

“オーストラリアンウイスキーの父”として知られるビル・ラーク氏が1992年に設立したオーストラリア最古のウイスキー蒸留所。ホバートの北、車で約30分の場所にある蒸留所は石造りで、歴史を感じさせる。ガイド付きテイastingツアーや蒸留所ツアーがおすすめです。



©Tourism Tasmania & Nick Osborne

さまざまな種類の蒸留酒をボトルで購入できる

Lark Distillery

<https://larkdistillery.com>

バリラ・ベイ・オイスター

天然牡蠣の養殖場で新鮮な牡蠣やシーフードを満喫

ホバート中心部から車で約20分のバリラ湾で、1980年に創業したオイスター・ファーム。新鮮な生牡蠣とアワビ、タスマニアの伝統的なジンジャービールが楽しめる約1時間のファームツアーが人気だ。レストランで洗練されたシーフード料理を味わうのも特別な時間になる。



©Tourism Tasmania & Nick Osborne

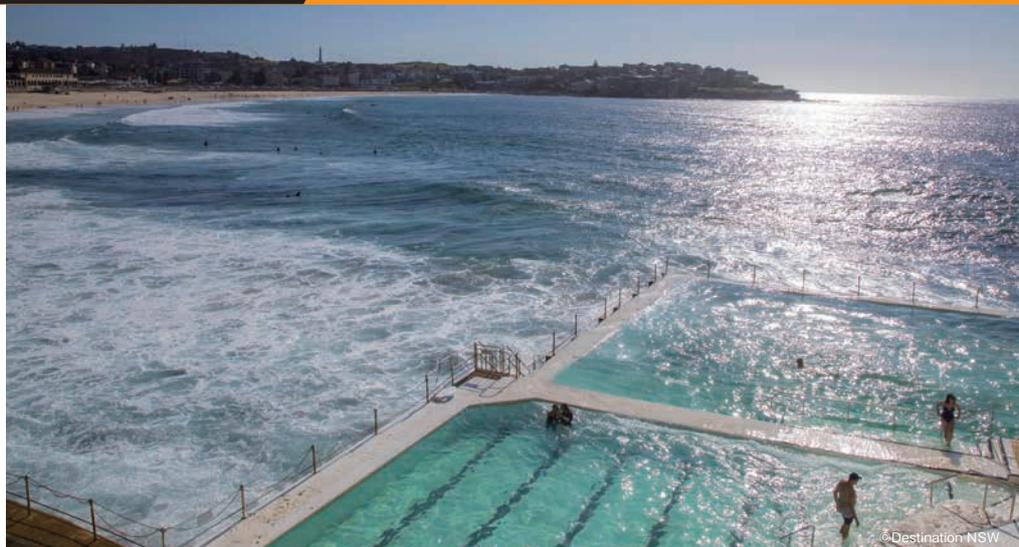
ビーチでは牡蠣のリスを見学できる

Barilla Bay Oysters

<https://barillabay.com.au>



シドニー・ハーバーや王立植物園などの観光地でも、数時間のツアーに参加することでオーストラリアの文化に触れることができる。オーストラリアンワインを楽しむなら、その舞台はワイン産地がいい。ハンター・バレーならシドニーから車で北へわずか2時間半の距離だ。



シドニー・ハーバーやビーチ、ワイナリーを舞台に シドニーならではのアクティビティを体験 ニュー・サウス・ウェールズ州のレジャープロダクト

Sydney オーストラリアン・クルーズ・グループ

クルーズでシドニー・ハーバーの風景と美食を堪能

世界三大美港の一つ、シドニー・ハーバーの魅力を経験するならクルーズが最適だ。36年の歴史を誇るオーストラリアン・クルーズ・グループは、多数のクルーズツアーを主催。なかでもラグジュアリーなエンターテインメントショーが人気のショーボートディナークルーズや大きな窓から景色を満喫できるデラックスランチクルーズがおすすめ。どちらも水上でコース料理と極上のワインをゆったりと味わうことができる。



© Australian Cruise Group
日本人スタッフも乗船しているので安心

Australian Cruise Group
<https://www.australiancruisegroup.com.au>

Sydney ロイヤル・ボタニック・ガーデン・シドニー

王立植物園で先住民に学ぶブッシュ・タッカー

シドニー・ハーバーのパノラマを望む市民憩いの王立植物園。広大な園内を巡るさまざまなツアーが催行されており、なかでもアボリジナルピープルのガイドが案内してくれるアボリジナル・ブッシュ・タッカー・ツアーが興味深い。先住民が伝統的に食してきた動植物のブッシュ・タッカーがどのように食べられ、それらが現代の食文化にどう生かされてきたかなどについて学ぶことができる。



© Destination NSW
伝統食に触れる約1時間のツアー

The Royal Botanic Garden Sydney
<https://www.botanicgardens.org.au/whats-on/aboriginal-bush-tucker-tour>

Bondi Beach レッツ・ゴー・サーフィン

初心者大歓迎！ボンダイ・ビーチでサーフィンデビューを

サーフスポットとして有名なボンダイ・ビーチで、初心者から経験者まで対応するサーフィンスクール。グループレッスンとプライベートレッスンがあり、いずれもウォーミングアップ、パドリング、サーフボードの立ち方をはじめ、海のコンディションの見方などを学ぶことができる。ウェットスーツやサーフボードはレンタルできるので、必要なものは水着とタオルだけという気軽さも人気だ。



© Lets Go Surfing
インストラクターが丁寧に指導

Lets Go Surfing
<https://letsgosurfing.com.au>

Hunter Valley ハンター・バレー・リゾート(ザ・ファーム)

1つのリゾートでワイン、ビール、アクティビティを満喫

オーストラリアワイン発祥の地ハンター・バレー。ポコルビンに位置する約100エーカーのハンター・バレー・リゾートには、広大な敷地に4つ星の宿泊施設、セラードア、ブリュワリーなどがあり、オーストラリアワインや地元のクラフトビール、美味しい食事を心ゆくまで楽しむことができる。乗馬やセグウェイ、クッキングスクール体験、ワイン樽ころがしなど、アクティビティも豊富にそろそろ。



© Destination NSW
地元クラフトビールのテイスティングも可能

Hunter Valley Resort (The Farm)
<https://huntervalley.com.au>



ニュー・サウス・ウェールズ州では1年を通して各地で多彩なイベントが開催されている。なかでも州都シドニーで行われる大がかりなイベントは、旅のモチベーションアップに最適だ。旅行者でも気軽に参加できるイベントで、オーストラリアの最新カルチャーや食文化に触れたい。

旅を彩る多彩なイベントでシドニーの文化、カルチャーに触れる

ニュー・サウス・ウェールズ州のメジャーイベント

Sydney ビビット・シドニー 2024

感動！光と音楽と食とアイデアのフェスティバル

オーストラリア最大の光と音楽と食とアイデアのフェスティバル。14回目を迎える2024年は5月24日から6月15日まで開催される。シドニー・オペラ・ハウスのプロジェクト・マッピングや有名なミュージックアーティストのライブなどももちろん、食のテーマも見逃せない。イベントとコラボレーションしたレストランやインターナショナルなシェフによるパフォーマンスは、メニューだけでなく斬新な演出にも驚かされる。



光のキャンパスになるシドニー・オペラ・ハウス

Vivid Sydney 2024 5月24日～6月15日
<https://www.vividsydney.com>

Sydney シドニー・マラソン 2024

全長1149mのシドニー・ハーバー・ブリッジを走る

シドニーの最も象徴的な名所を走るマラソン大会。フルマラソンやハーフマラソンに加え、10kmのブリッジ・ラン、3.5kmのファン・ランがあり、いずれもシドニー・ハーバー・ブリッジを渡り、ゴールのシドニー・オペラ・ハウスを目指す世界でも美しいコースの1つだ。シドニー・マラソンは、現在6大会が加盟するアボット・ワールドマラソン・メジャーズ(AWMM)の正式候補レースとなっている。



目指すゴールはシドニー・オペラ・ハウスだ

Sydney Marathon 2024 9月15日
<https://sydnymarathon.com>

Sydney サウス・バイ・サウスウエスト・シドニー 2024

最先端のテクノロジー複合イベントをシドニーで開催

米国発の複合イベントが2023年初めてシドニーで開催された。クリエイティビティとイノベーションを基に、音楽、映画、ゲーム、テクノロジー、文化などさまざまな分野の最先端テクノロジーを見ることができ、2024年も10月にシドニーで開催の予定で、アーティストによるパフォーマンス、ゲーム展示、映画上映、技術エキスポなど多数のイベント、セッション、カンファレンスが行われる予定。



シドニーの街なかでさまざまなイベントを開催

SXSW Sydney 2024 10月
<https://sxswsydney.com>

Sydney ハンダ・オペラ・オン・シドニー・ハーバー

水上ステージで繰り広げられる迫力の野外オペラ

目の前にシドニー・ハーバーを望む最高のロケーションで1カ月に渡り上演される野外オペラ。舞台は水上に張り出すように設営され、舞台の背景にはシドニー・オペラ・ハウスやシドニー・ハーバー・ブリッジ、頭上には星空が広がる何とも贅沢なステージだ。上演される演目も日本人に馴染み深いものが多く、2024年は3月22日から4月21日までウエストサイド・ストーリーが上演される。



観劇前には食事やカクテルが楽しめる

Handa Opera on Sydney Harbour 3月22日～4月21日
<https://opera.org.au/productions/west-side-story-on-sydney-harbour>



直行便再開でリカバリーの加速が見込まれる西オーストラリア州。現地でも日本市場への期待が大きく高まっている。今回のオーストラリア特集ではそうしたサプライヤーのうち、11月中旬に実施した商談会のために現地から来日した13社・団体の最新情報を紹介。彼らが日本に対して熱い思いを持って極めて協力的であることはお墨付き。商品造成等に是非活用してほしい。



待望の直行便再開！ クオッカやセルフドライブなど注力へ

リカバリーへの重点項目、グローバルキャンペーンも一州首相も交流拡大に意欲

ついに直行便再開！

10月29日、ANAによる成田/パース直行便がついに運航再開。まずは週3便だが、州政府観光局では安定的な運航を維持し、さらに5便、デイリーへと成長を目指す。



成田空港到着時にはANAの関係者や大森芸妓が出迎え

下期そして2024年以降への戦略として、ワイルドフラワーを重要テーマとして継続訴求し、「世界一幸せな動物」として抜群の知名度を獲得しているクオッカも従来以上に積極活用。そのクオッカが暮らすロットネスト島ではコロナ禍中にラグジュアリーホテルとグランピングも開業。日本市場での提案も強化中で、メディア露出も増加が見込まれる。

イベントやテーマを軸にSIT需要の喚起にも努め、セルフドライブについても関係企業と協力して取り組んでいく。

なお、直行便就航記念ではエイチ・アイ・エスと連携しラッピングバスも運行。クオッカを大きく描き、街中や観光地で広く認知を広げていく。

現地は受入態勢万全 州首相もANA初便で来日

11月の商談会で来日したのは13・団体だが、実は泣く泣く参加を断らざるを得なかった企業・団体も少なくなかった。日本市場にとっての「長年の仲間」である彼らは、日本向けの先行投資にも力を入れて万全の受入態勢を整え日本人旅行者を待っている。

さらに、現地側での日本市場への期待と思い入れの高まりは観光業の中だけでは留まらない。パース直行便の再開初便には州政府の首相と副首相がANA井上慎一社長とともに搭乗して来日。

本紙取材に対して首相は「ようやく直行便の再開にこぎつけられてとてもうれしい。直



行便の恩恵はどれだけ大きいかわからないほど」などと述べたほか、州政府の駐日代表部が今年で開設55周年であることにも触れ、今後の双方向交流の活性化に期待。

さらに貿易やエネルギーなどを通じたさらなる関係深化も見据えているところで、来日中には投資・貿易の促進を目的としたレセプションも都内で開催した。

新グローバルキャンペーン「WALKING ON A DREAM」

西オーストラリア州政府観光局では、新たなグローバルキャンペーン「WALKING ON A DREAM—さあ、夢の世界へ旅立とう」を日本でも展開中。

世界遺産の海「ニングルーリーフ」のジンベイザメが夕暮れ時の海を雄大に浮遊する様子を描いた広告を中心に、西オーストラリア州が冒険心を刺激する夢のような旅先であることをアピールするもの。夏には新宿と原宿で、肉眼で大迫力の3D映像に見える街頭ビジョンを活用し多くの消費者に直接メッセージを届けた。

今後もオンラインを中心に戦略的に広告を実施。既存のファン層に加えて新たな渡航需要を創出していく狙いだ。



日本市場の味方！来日サプライヤーを一挙紹介！

サウスウエスト観光局



プレミアムワインの世界的産地マーガレットリバーを中心とした南西部を管轄。息をのむような光景やユニークな野生動物、手つかずのビーチ、美しいブドウ畑、ユーカリの森や洞窟、24もの国立公園、豊かな自然と新鮮な食材、世界最高級クラスのワインから生み出される極上のグルメ体験など、一生に一度の体験が待っている。

ピナクルトラベルグループ



14人乗り〜60人乗りまで揃う大手コーチ会社。ラグジュアリーコーチも強みで、キンバリー地方を豪華クルーザーで巡る新商品も。

ロットネスト島でも大型フェリーを毎日運航し、島内でも様々な事業を展開。ピナクルズ、ウェブロックなど州内各地への日帰り＆滞在ツアーも多数。日本市場へ投資も強化中で日本語対応も充実している。

スカイダイブ・ジェロニモ WA



ロットネスト島で上空4.5kmからタンデムのスカイダイビングを提供。離島でのスカイダイビングは世界でも希少だ。経験豊富なチームがレクチャーから実際のダイブまでサポート。美しい海岸線や島々、パースのパノラマの景色を満喫できる。スカイダイブ・ジェロニモで、非日常との出会いと究極のスカイダイビングを体験してみよう。

カバシャム・ワイルドライフパーク動物園



スワンバレーにある州内最大の動物園。1988年からの家族経営で、固有種を含む約200種・2000頭以上が自然に近い形で生息し、訪れる人々はカンガルーの餌やりや人気のコアラとの写真撮影、羊の毛刈りや乳搾りなどのファームショーも楽しめる。企業インセンティブなどへの出張プログラムにも対応している。

クオリティホテル・アンバサダーパース



受賞歴のある4つ星クラスホテルで、パース中心部のアデレードテラスに位置。170室の客室を備えて教育旅行や職場旅行、出張・ビジネス、グループ、FITと多様なニーズに対応。客室はダブルとツインの2タイプで、全室で無料WiFiを利用できバススタブも完備。アイロンや紅茶/コーヒーマーカーなどアメニティも充実している。

IHGホテルズ&リゾーツ



IHGホテルズ&リゾーツはパース市内で、インターコンチネンタル、クラウンプラザ、ホリデイインの3ブランドで4軒のホテルを運営。家族旅行からロマンチックな休暇、企業インセンティブから教育旅行団体、そしてFITラグジュアリーまで様々なお客様に対応。アクセスも便利で、パース、そして州全体を最大限に楽しむ最適な拠点だ。

QTパース



エンタメ、飲食、アート、デザイン、建築、ファッションを6本柱とするQTホテルズ&リゾーツの高級デザイナーズホテル。地域の歴史や文化を元にデザインされたアートとスタイル、そして豪華さが見事に融合。最高のサービスと快適な滞在、素晴らしいグルメが自慢で、イタリアンレストランとおしゃれなルーフトップバーが大人気だ。

スワンリバー・シープレーンズ



最新鋭の水上飛行機と経験豊富なパイロットチームがスワンリバーの桟橋を発着する遊覧飛行を提供。パースの魅惑的なスカイライン、美しいビーチ、緑豊かな風景のパノラマビューを楽しんだ後はスワンリバーへ戻り、最後は水しぶきを上げる大迫力の着水。ロットネスト島やマーガレットリバー、さらに遠方へのコースも可能だ。

ネイションウエスト・アビエーション / カルバリ・シーニックフライト



パース、ジェラルトン、カルバリに拠点を置く遊覧飛行の専門会社。アプロロス諸島、ウェーブロック、ハットラゲン・ピンクレイクなど広範囲にわたるエリアで上空からの絶景を全席窓側から楽しめる。低予算から高級志向、FITからグループ、セルフドライブから企画ツアーまでさまざまなニーズに対応。貸切の遊覧飛行も可能だ。

ジャーニー・ビヨンド



オーストラリアの観光産業を代表する企業グループ。州内ではロットネスト・エクスプレスでロットネスト島を訪れ、ホリゾンタルフォールズ・シープレーン・アドベンチャーでキンバリーのホリゾンタルフォールズ（水平の滝）を探索。そして、ニンガルーリーフでは高級リゾートのサルサリスに滞在して世界遺産の絶景を満喫しよう。

シーリンク・マリン&ツーリズム



ロットネスト島へのフェリー SeaLink Rottneest Island、パースとフリーマントルを結ぶクルーズやスワンバレーへのグルメワインクルーズなどを運航するCaptain Cook Cruises WA、スワンバレーディツアーのSwan Valley Toursを展開しフレンドリーなサービスで人気。スワンバレーは州都から船で行ける豪州唯一のワイナリーだ。

ツーフート&ハートビート



パースおよび州全土で、あらゆるグループに対応する同行ツアーを主催。テーマ性のあるウォーキングツアーや話題のディナー、プライベートクルーズなど様々なツアーを通して、土地の風景や人々、文化、食、歴史、芸術についてユニークな体験を提供している。体験の中心となるプロフェッショナルな地元ガイドチームが自慢だ。

パース・ワイルドライフ・エンカウンターズ



パースからすぐのロッキンハムを拠点に州ナンバーワンの受賞歴を誇る野生動物ツアーを提供。餌付けは一切せずサステナビリティにも貢献し野生動物の保護事業も。イルカと泳いだりペンギン島でフェアリーペンギンと出会ったり、最新のツアーではアシカとシュノーケルも！ちょっとワイルドなアドベンチャー体験を楽しもう。

西オーストラリア州政府観光局 日本市場向けSNS・観光情報サイト

WESTERN AUSTRALIA
WALKING ON A DREAM

西オーストラリア州政府観光局ではオンラインでの情報発信を引き続き強化中。Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、本局公式サイトに加え、日本市場限定のANAのコラボサイトや業界向けイメージライブラリも運営。さらにパースのウォーキングマップや公式ガイドブック「WAVE」もダウンロード可能だ。州政府観光局では、ANA直行便の継続運航に向けて特別予算も確保しており、各ツールでは今後の展開も随時発表していくので是非フォローしてほしい。詳細は右記リンクから。

● https://linktr.ee/twa_japan



新アクティビティやユニークなイベントが待っている

観光再開に花を添える新たな魅力を紹介



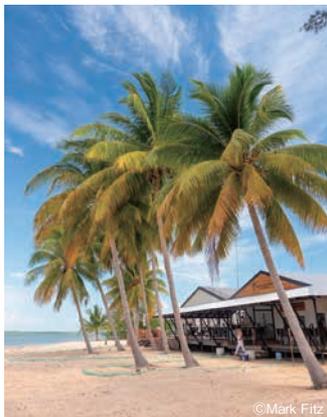
ノーザンテリトリーではコロナ渦中から、観光再開を待ち望みつつ、新たな観光素材の開発やイベント再開の準備が進められてきた。そんな取り組みが観光再開とともに花開き、いまノーザンテリトリーでは魅力あふれる観光コンテンツが相次いで登場。中断や延期を余儀なくされていたイベントも次々再開し、季節を彩る観光素材として旅行者の参加を待っている。一番新しいノーザンテリトリーから届いた注目の観光素材情報を紹介する。

Top End トップエンド

ティウィ・アイランド・リトリート

Tiwi Island Retreat

ダーウィンからSealinkのツアーで訪れることができるパースト島(ティウィ諸島)の西端にある島で唯一のリゾート。携帯電話もWIFIも使えないデジタルデトックスに最適な環境だ。オールインクルーシブスタイルで料金には宿泊、飲食(アルコール含む)、アクティビティ(ビーチバギーやキャンプファイヤー、フィッシング等)が含まれる。海洋保護区の海の美しさは感動的だが、ワニや猛毒クラゲも生息するため遊泳は禁止。



©Mark Fitz

一般的な「オーシャンルーム」、カップル向き「ラグジュアリーグランピングテント」、家族向き「ファミリーオーシャンルーム」、グループ旅行向き「ヴィレジットルーム」の各部屋がある。営業期間は3月中旬～12月中旬。

<https://www.tiwiislandretreat.com.au>

バムルブレインズ

Bamuru Plains

ダーウィンからチャーター機で約30分、陸路では車で3時間の距離。カカドゥ国立公園の端に位置する。周辺の300km超の原生地域にはワニの生息域がありカササギガンの10万羽以上の大移動に出会える場所もある。



©bamuruplains

オーストラリアンサファリストイルの宿泊施設が12棟あり、オールインクルーシブの料金には宿泊、飲食(アルコール含む)のほか、1日2回のガイド付きサファリが含まれ、ガイドと共に湿原をエアポートでいくサファリや、ワニを観察するリバークルーズなどを体験できる。本格的なグランピングを楽しみたい人に最適。営業期間は3月～10月まで。

<https://www.bamuruplains.com>

クーインダ・ロッジ「イエロー・ウォーター・ヴィラズ」

Cooinda Lodge Luxury Tent

カカドゥ国立公園の中心部に位置するクーインダ・ロッジに、隠れ家的な宿泊施設「イエロー・ウォーター・ヴィラズ」が新たに加わった。5月開業のヴィラはエアコン完備で、バーベキューグリルやダイニングテーブル、屋外バスタブまで付いた客室専用デッキが備わる。



©Yellow Water Villas

ラグジュアリーなだけでなく、先住民の土地へのリスペクトを表し、各客室に先住民にちなんだ名称を付け、インテリアは地元コミュニティのストーリーをテーマに取り上げているのも特徴。環境の持続可能性に配慮し、1本の木も伐採せず、土地への影響を最小限に抑えるため高床式建築構造を採用している。

<https://kakatutourism.com/>

Event

カカドゥ国立公園

カカドゥ・バード・ウィーク Kakadu Bird Week



©Kakadu Tourism

カササギ大移動のタイミングに合わせて開催期間が設定されるバード・ウィーク。バードウォッチングに参加してその面白さに目覚める人も多い。ユネスコ世界遺産にも指定されるカカドゥ国立公園がオーストラリアの鳥類の3分の1以上が生息する野鳥のパラダイスだからこそだ。開催期間中は、専門家のガイド付きツアーや湿地帯クルーズを通じて先住民文化を体験することもできる。

開催時期 2024年9月27日～10月2日 開催場所 ●カカドゥ国立公園

<https://kakatutourism.com/explore-kakadu/events/kakadu-bird-week-2024>

ダーウィン

ダーウィン・アボリジナル・アートフェア Darwin Aboriginal Art Fair



©Darwin Aboriginal Art Fair Foundation

国際的に認知され高い評価を得ているアートイベントのひとつで、新進アーティストからベテランまでの幅広い作品を鑑賞できる。キャンバスに描かれた絵画や彫刻だけでなく、樹皮画やファイバーアート、あるいはディジュリッドゥ(アボリジニの木管楽器)など変化に富んだスタイルのアート作品や製品が展示され、その場で購入することもできる。

開催時期 2024年8月9日～11日

開催場所 ●ダーウィン・コンベンション・センター <https://daaf.com.au>

ウルル

ウィンジリ ウィル

Wintjiri Wiru



©Voyages Indigenous Tourism Australia

今年からウルルで新たにスタートした屋外エンターテインメントショー。カルトゥカジャラからウルルまでのマラの物語は土地の管理者であるアナング族に代々伝わるストーリーだ。ラムス社(RAMUS)がデザイン・制作したドローン、光、音を駆使した芸術的なプラットフォームにより、彼らの物語を今に伝える没入型体験を実現した。

小高い砂丘がショーの舞台。「地平線まで続く美しい眺め」を意味するウィンジリ ウィル(Wintjiri Wiru)の名称そのままのロケーションで、遠くに臨むウルルとカタ・ジュタの姿が夕闇に包まれ始める頃にショーがスタート。エアーズロック・リゾート発のツアーは、郷土料理とカクテルが味わえるサンセットディナーツアー、黄昏時を体験するトワイライトツアーなど3種類。ウルルの麓の「マラ・ウォーク」を事前に訪れ、物語の存在を身近に感じておけば、上演されるストーリーをより深く理解できる。

<https://www.ayersrockresort.com.au/wintjiri-wiru>

キングス・キャニオン

ライトタワーズ

Light Towers

ディスカバリーリゾート キングス・キャニオンに今年登場したばかりの「ライトタワーズ」は、幻想的な音と光のインスタレーション。英国の国際的アーティスト、ブルース・マンローがデザインした体験が幻想的な時間を提供する。



リゾートの広大な敷地内に柱状の発光体「ライトタワーズ」が多数設置され、魅惑的なサウンドスケープに合わせて光の色が変化。大自然の中で別世界へトリップしたような没入感に浸れる。3つの予約タイプ。サンライズとサンセットの両セッションはカナッペとドリンクを楽しんだ後に地元ガイドの解説付きで鑑賞する。また飲食が付かない「パイ・ナイトセッション」は、セッション前後にルリチャ展望台の飲食店を利用できる。

<https://www.discoveryholidayparks.com.au/kings-canyon/activities-and-attractions/light-towers>

キングス・キャニオン

ディスカバリーリゾート キングス・キャニオン

Discovery Resorts - Kings Canyon

今年4月、リゾートにデラックスルームが新たにオープンした。キングサイズベッドとソファ、大きめのバスタブを設置し客室には3名までの宿泊が可能。美しい断崖の景観がバスルームやバルコニーからも眺められ、バスタブに浸かりながらアウトバックを身近に感じ、1日の疲れを癒せるのが特徴だ。



©Discovery Parks

リゾート内には終日営業のカジュアルなレストランやビュッフェ式朝食のレストラン、星空や月明かりの下でアルコールを楽しめるバーなど複数の飲食施設がある。

ここを拠点にアウトバック体験ができるのも特徴で、キングス・キャニオンの周縁部を歩く「リム・ウォーク」は見逃せないアクティビティのひとつ。

<https://www.discoveryholidayparks.com.au/caravan-parks/northern-territory/uluru-kings-canyon-resort/4649-deluxe-experience-package?dates=27+Sep+2023+-+28+Sep+2023&adults=2&children=0&infants=0>

Event

アリス・スプリングス

パーティマフェスティバル・イン・ライト Parrtjima



©Lisa Hatz

10夜連続で開催されるアボリジナルの光の祭典。オーストラリア中央部のマクドネル山脈一帯に広がる、3億年の歴史を持つ大地を自然のキャンバスに見立て、地球最古の先住民文化を、最新テクノロジーを駆使したインスタレーションで表現。加えてワークショップや音楽、映画、先住民関連のトークショーなども併催する。

開催時期 ● 2024年4月12日～21日(入場無料)

開催場所 ● アリス・スプリングス・デザートパーク

<https://parrtjimaaustralia.com.au/information/about-us>

アリス・スプリングス

ファブアリス FABalice



©Tourism NT

オーストラリアで人気の映画『プリシラ』をモチーフに、街を挙げて行うプライドフェスティバル。開催期間中はアリス・スプリングスが一段と賑わいを増す。街の所々にレインボーカラーのペインティングが施され、ドラッグ・クイーンたちのパレードやピンゴ大会、プールパーティー、各種ステージパフォーマンスなど数多くのイベントが街

のあちこちで賑やかに開かれる。

開催時期 ● 2024年3月7日～10日

開催場所 ● アリス・スプリングスの街全体 年齢制限 ● 18歳以上

<https://www.fabalice.com/about>



日本路線、週28便に大幅増強



シドニー、ブリスベン、メルボルンへノンストップ より近く、より便利に、カンタス航空で行くオーストラリア

カンタス航空は、2023年11月26日より、日本路線をこれまでの週14便から週28便へ、2倍の規模に大幅増強した。オーストラリアへは、より近く、より便利に、乗った時からオーストラリア気分になれるカンタス航空がおすすめだ。

Schedule

利便性の高いスケジュール

羽田—シドニー線は、1日2便に倍増。羽田を朝と夜に出発するので、ニーズに合わせてフライトを選択できるようになった。またシドニー、ブリスベン、メルボルンへ、すべてのフライトで夜に出発、翌朝現地に到着する便を設定。到着初日からたっぷりオーストラリアを満喫できる。

カンタス航空日本路線 (2023年11月26日から2024年3月30日まで)

羽田—シドニー線 便利な羽田発着、1日2便に倍増、朝発と夜発から選べる

便名 / 運航区間	運航スケジュール	使用機材	運航曜日
QF26 羽田 → シドニー	08:45/20:30	B787	毎日
QF60 羽田 → シドニー	22:00/09:55 +1	A330	毎日
QF59 シドニー → 羽田	12:10/20:00	A330	毎日
QF25 シドニー → 羽田	22:05/05:55 +1	B787	毎日

成田—ブリスベン線 成田発着に、毎日1便に増便

便名 / 運航区間	運航スケジュール	使用機材	運航曜日
QF62 成田 → ブリスベン	20:10/06:25 +1	A330	毎日
QF61 ブリスベン → 成田	09:20/17:30	A330	毎日

成田—メルボルン線 成田発着に、毎日1便に増便

便名 / 運航区間	運航スケジュール	使用機材	運航曜日
QF80 成田 → メルボルン	19:20/07:45 +1	A330	毎日
QF79 メルボルン → 成田	09:25/17:40	A330	毎日

* +1:翌日着 ※スケジュール、機材は予告なく変更になる場合があります。

Network

オーストラリア国内へ充実のネットワーク

カンタス航空は、オーストラリアの航空会社として、オーストラリア国内線の充実したネットワークを誇る。シドニー、ブリスベン、メルボルンから、オーストラリア各地へスムーズにアクセス可能。乗り継ぎ便も豊富にあるのが大きな強みだ。

また、日本各地から日本航空またはジェットスタージャパンの国内線を利用して、羽田または成田経由で乗り継げる点も便利だ。



Economy Class

快適な座席でゆったりとくつろげる エコノミークラス

人間工学に基づいて設計されたゆったりとくつろげるシートで、豊富な機内エンターテインメントが楽しめる。

ボリュームのある機内食は3種類から選べ、オーストラリア産のワインも豊富にラインナップ。搭乗した瞬間からオーストラリアを感じることができる。

運賃に受託手荷物が含まれているので、日本発オーストラリア行き航空券では、エコノミークラスでも個数制限なしで総重量30kgまで無料と安心。



Premium Economy Class

ワンランク上の快適さとサービス プレミアムエコノミークラス

羽田ーシドニー線では、A330型機に加え、ドリームライナーB787型機も運航中*。

同機ではプレミアムエコノミークラスを搭載。超長距離用に特別に設計された幅の広い座席で、機内を快適に過ごせるのが魅力だ。

*B787型機は2024年3月31日羽田発まで運航予定。2024年4月1日からは、羽田ーシドニー線は全便A330型機での運航を予定。



Business Class

離陸から着陸までリクライニングが可能 ビジネスクラス

A330型機およびドリームライナーB787型機の全便で、快適なビジネススイートを提供。ビジネスクラスの座席は、ビジネススイートとして、全席通路に面した開放感のある空間が特徴で、離陸から着陸まで、専用のマットレスを付けたまま、フルフラットベッドでのリクライニングが可能。夜間のフライトの貴重な睡眠時間を確保できるのがうれしい。座席にはPC電源とUSBポートを完備する。

収納可能なタッチパネル式モニターでは、豊富なエンターテインメントを、周辺の音を軽減する機能付きのヘッドフォンで楽しめる。

また、コットン100%のパジャマやアメニティキットを用意。アメニティキットには、竹の歯ブラシや、リサイクルプラスチックを使用したチューブやボトルを採用するなど、廃棄物削減、サステナブルを意識したアイテムが入っている。オーストラリアで人気のレストラン「ロックプール」がプロデュースした機内食もぜひ味わいたい。

出発前は、ビジネスラウンジでゆっくりとくつろぐことができる。

なお、ビジネスクラスでは、日本発オーストラリア行き航空券の場合、個数制限なしで総重量40kgまで無料となっている。



ブリスベン空港 カンタス ビジネスラウンジ

*機材は予告なく変更になる場合があります。



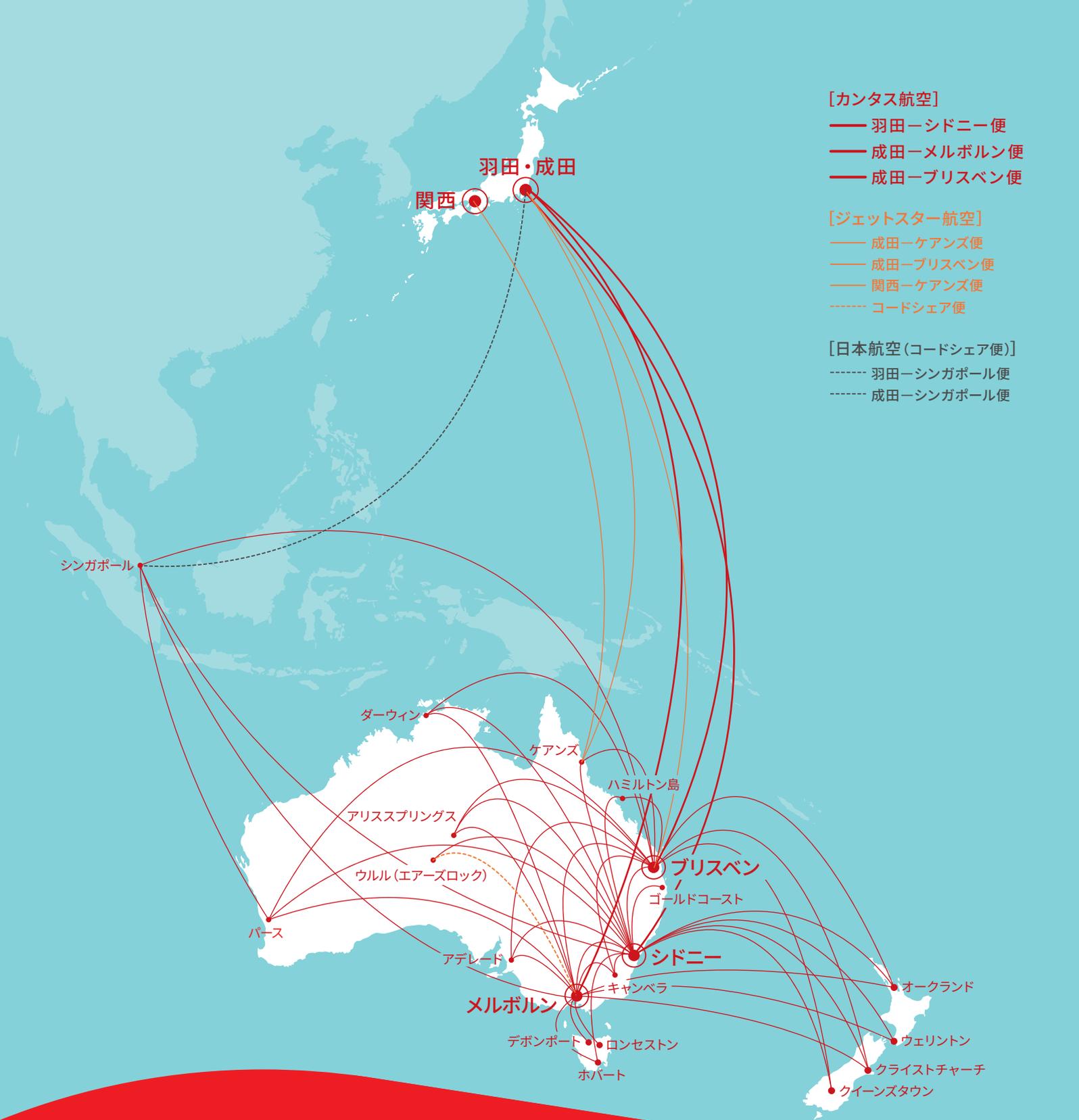
オーストラリア国内線をお得に利用できる「カンタス・エクスプローラー」(イメージ)

Service

見どころいっぱいのオーストラリア 一度に楽しめる「カンタス・エクスプローラー*」が便利

オーストラリアの国内線ネットワークが充実しているカンタス航空ならではのプログラム。オーストラリア行き国際線エコノミークラスと同時の購入で、オーストラリア国内線をお得な割引運賃で利用できる。シドニー、ブリスベン、メルボルンをゲートウェイに、自由自在な旅程をお得に組み合わせることが可能だ。

*カンタス・エクスプローラーのご利用は、カンタス航空のオーストラリア行きまたはニュージーランド行きの国際線運賃と同時に予約する必要があります。



カンタス航空だからできる 自由で雄大なオーストラリアの旅。

65以上の目的地*をつなぐ国内線が未知の経験と感動との出会いを広げます。



*運航路線は予告なく変更になる場合があります。

